

新型コロナウイルス感染症は、感染拡大のスピードが抑えられる瀬戸際とする見解から、国内の感染状況について爆発的な感染拡大には進んでいませんが、感染者の増加傾向は続き警戒を緩められないとしています。その上で、これまで感染の共通した場所は、3つの条件の重なりを示しました。

- (1) 密閉空間：換気が悪い
(2) 密集場所：多数が集まる
(3) 密接場面：間近で会話や発生
- 3条件が同時に重なる場所を避ける行動を！

3条件(密閉・密集・密接)がそろった場所
クラスター発生のリスク非常に高い！

密閉空間で
換気が悪い

近距離での
会話や発声

手の届く範囲に
多くの人が密集

正しい情報で正しい行動を！

新型コロナウイルスQ&A

厚生労働省 資料

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。
どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。
毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談すると
どうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって
感染しますか？

- A** 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。
- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」
 - ② ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに
気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったら
どうしたらいいですか？



A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談しましょう。

- ① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く
- ② 強いだるさや息苦しさがある



・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため妊婦さんは、こうした状態が2日程度続いたら相談しましょう。

・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることは
なんですか？

A 以下のことを心がけましょう。

- ① 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。